

【文化学部】令和7年度 FD 活動の「年間計画」

1. 今年度の取り組み（前年度の「FD 年間報告書」から修正）

文化学部は令和8年度の改組によって文化構想学科、京都文化学科、文化観光学科の3学科体制となる。新学部生は、どの学科に所属しても他学科の基礎知識が得られるよう、基幹科目（必修）として「文化構想学概論」「京都文化学概論」「文化観光学概論」「デジタルヒューマニティーズ概論」を履修することになっている。教員においても他学科のカリキュラムについて一定の理解を備えておくことが望まれる。

今年度は京都文化学科観光文化コースより「観光と地域社会」を公開授業として取り上げ、観光が地域社会に対して与える影響についてどのような学びがなされているのか、教員間で共有する。その後にワークショップを設定し、文化観光学科の課題や授業内容の質向上に向けた検討を行う。もう一つは、デジタルヒューマニティーズ（以下DH）関連科目について、教員間で取り組み方を学び合う機会を設ける。3学科体制を横断する学びの一つがDHである。それは情報学的手法を取り入れた人文学の展開を意味するが、用語としては様々な定義が可能であり、今後は京都産業大学文化学部としての理解を示していくことが求められる。その準備に向けた研修会を実施する。

こうした試みによって、学科間の連携の強化、協力体制の構築を目指し、学部としてのカリキュラムの充実を図るとともに、改組を見据えてより魅力的な学部教育が展開できるよう力を尽くしたい。

2. 「1」を踏まえて、今年度の重点テーマ・目的・期待する効果等についてお書きください。

(1) テーマ：文化観光学およびDH関連科目の学びについて理解を深め、授業内容の質向上を図ること。

(2) 目 的：文化観光学およびDH関連科目の教授法や運営方法を学び合いながら、そのノウハウを学部全体で共有すること。

(3) 期待する効果：学科間の連携を強化し、協力体制を構築し、学部教育の充実を図ることが期待される。

3. 公開授業等について

公開授業やワークショップは、教員間で教授法を学び合う機会、学部のカリキュラム改善等について検討する機会として年1回以上設定・実施してください。

なお、実施にあたっては、出席者の記録をお願いいたします。出席者記録の提出は不要ですが、年間報告書にて、出席人数の記載をお願いいたします。

なお、出席者記録は、提出をお願いする場合がありますので、保管しておいてください。

(1) 公開授業・ワークショップ：

※公開授業と公開授業に関するワークショップが対象

【公開授業】

- 実施日時・場所：2025年11月7日（金）4時間目・T205教室
- 科目名：観光と地域社会
- 担当教員名：奥野圭太郎講師

- 選定理由：授業概要に「観光が地域社会に与える影響について学び、自身の意見が述べられるまで考えてもらう講義である。日本全国、都市部から中山間地域までもが観光客を求め、観光で地域活性化、地方創生を目指しているが、いっぽうで、コロナ前の京都市や福岡市などでは、オーバーツーリズムが疑われる現象が各地に散見していたし、それがコロナ後にどうなるかはまだ予測もつきにくい。観光と地域社会の望ましい関係とは何だろうか。この授業ではそれを探るべく、京都府・市の例を中心に様々な事例を交えて分析していく。」とあるように、文化観光学科の3ドメイン「観光文化」「地域づくり」「観光産業」のエッセンスを網羅的に理解できるのではないかと考えられるため。

【ワークショップ】

- 実施日時・場所：2025年11月7日（金）5時間目・T205教室
- 実施内容：文化観光学に関するノウハウや情報を共有し、学部全体の授業改善につなげる。

(2) その他研修会等：

※（1）以外の学部FDとして実施する研修会が対象（人権研修会を除く）

【研修会①】

- 実施日時・場所：2025年10月15日（水）教授会終了後・5302教室
- 実施内容：DH科目ワーキンググループ成果報告会（仮）
- 実施目的：2025年4月から学部内に立ち上げるDH科目ワーキンググループ（科目内容の検討が目的）の成果報告を須永恵美子准教授より行う。特に「デジタルヒューマニティーズ概論」の全体像を示し、学部としてのDH理解を共有する。

【研修会②】

- 実施日時・場所：2025年12月3日（水）教授会終了後・5302教室
- 実施内容：授業における生成AIの活用について（仮）
- 実施目的：生成AIの活用事例について講師（Gifutomo LLC AI Jonbin 森本洋平氏）を招聘し、話題提供を行ってもらう。現時点での課題、今後の展望などについて、質疑応答を行う。その上で、参加者間で意見交換を行う。

※この内容は本学におけるFD活動の一環として、本学HPに掲載します。